

11月の月間目標

ほんをよもう!

普段、家庭で本を読む機会がありますか。うちは、そんなに本を読んでいないと思っても、子どもが幼い頃に絵本を読み聞かせたとか、子どもが興味をもったことについて、一緒に図鑑で調べたとか、時には親子で同じ漫画を読んで盛り上がったとか、知らないうちに本に触れているものです。その家庭に合ったスタイルで本を楽しみませんか。



「ブックトーク」を知っていますか？

あるテーマを決めて、テーマに関連した本を順番に紹介していく方法で、学校や図書館などで、読書活動の一つとして使われます。就学前後の子どもがいる家庭でも、「ブックトーク」をアレンジして楽しむことができます。

楽しみ方

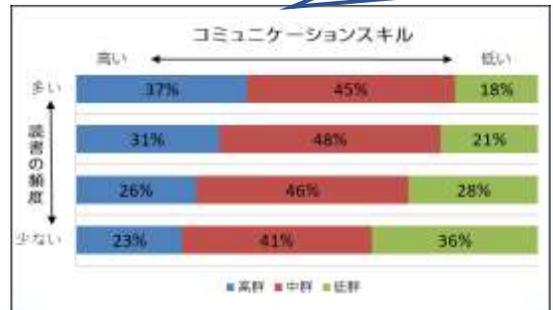
- ① まず、親子でテーマを決めましょう。(例) 動物
- ② 動物(テーマ)に関係する好きな絵本や図鑑、漫画などを、家があれば持ってきたり、なければタイトルやあらすじを紹介したりしましょう。
- ③ 親子で、その本を一緒に読んだり、好きな理由を話したりしましょう。

時には、図書館に行って、テーマの本を探してみるのも楽しいかもしれませんね。「この本のここが好き。」「この本に書いてあることはどんな意味があるのかな。」など、その本をきっかけに、親子で話をしたり、実際に本に書いてあることを体験したりして、楽しんでみてください。

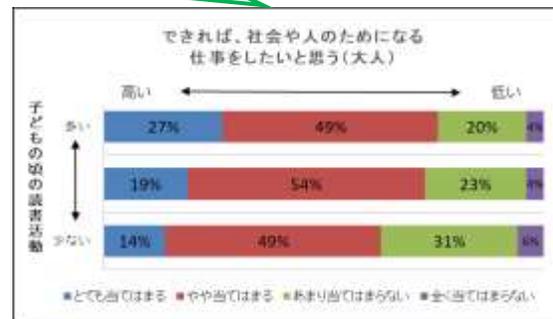


読書は考える力だけでなく、コミュニケーションの能力や社会性も育みます

読書をするほど、コミュニケーションスキルが高い傾向にあります。



子どもと同様に、子どもの頃の読書活動が多い大人ほど、未来志向や社会性などの意識・能力が高い傾向にあります。



(参考)「やってみよう! 読書・手伝い・外遊び まなぶつく」国立青少年教育振興機構 他

子どもの健やかな成長には、さまざまな体験をすることが大切だと言われています。ところが、コロナ禍で、子どもたちが体験活動をする機会が減少しています。そんな中で、ある調査(「小学生の読書に関する実態調査・研究」ベネッセ総合教育研究所)から、本を読むことが、夢中になる体験になったり、心理面での安定につながったりしていることが分かりました。コロナ禍で、大人以上に、子どもたちは長く不自由な生活を強いられてきています。少し時間を見つけて家族で本を楽しみ、ゆったりと心安まる時間を過ごしませんか。



家庭教育 Web ページ



毎月第3日曜日は「家庭教育・家庭の日(いきいきサントー)」です